

かわら版  
令和6年8月

# 地域ケア推進会議

発行：燕市 長寿福祉課 地域支援相談チーム



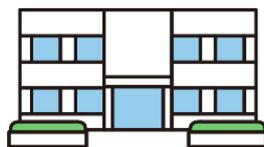
## 【第1回地域ケア推進会議を開催しました】

令和6年8月1日(木) 午後1:30~3:00

会場：燕市役所つばめホール

### 【議題と結果報告】

- (1) 会長、会長代理の選出
- (2) 地域ケア会議の体制について
- (3) 各部会の報告 質疑応答なし
- (4) 地域課題について意見交換・質疑応答(身寄りがない方の支援について)



## 1 会長、会長代理の選出

委員の互選により会長は小原宏一委員、  
会長の指名により会長代理は酒井貴人委員に決定しました。

## 2 地域ケア会議の体制について

資料 | 参照

## 3 各部会の報告 (令和6年度の取り組み内容)

### 総合事業部会

「多様な居場所の検討」として、地域の店舗などの空きスペースを活用した居場所の開設を試行的に行う。また、「新たな福祉サービスの創出」として、移動外出支援について検討していく。

### 在宅医療・介護連携推進部会

「私のきもち」手帳の普及、意思決定支援の取り組みを進めていく。県央地域の医療体制の課題の抽出と解決策の検討、在宅医療の体制整備についても課題があれば検討していく。

### 認知症支援部会

前回の地域ケア推進会議で議題となった認知症希望大使の任命に向けては認知症当事者の発信支援が重要であり、チームオレンジの推進と認知症カフェの開催場所の増設を目指す。

## 4 地域課題の検討【身寄りがない方の支援について】

### 1. 課題の提言 「身寄りがない方の支援に関するガイドラインの作成」

#### 【包括おおまがり】

- ・身寄りがない方の相談は増加し、支援者が本来業務以上の仕事を行うことが問題になっている。
- ・どこに相談し、どのように支援を進めればよいか共通のルールがあると良い。
- ・ワーキンググループを立ち上げ、燕市版ガイドラインの作成に向けて関係機関と連携しながら進めていけると良い。

#### 【分水包括】

- ・「身寄りがない」ことで医療や介護サービスがスムーズに受けられない現状がある。
- ・燕市としてのガイドラインが作成されることで、地域や専門職がこの問題を自分事と捉え、地域での取り組みや各事業所や施設・病院等でのルール作りに繋がると良い。

### 2. 各部会等での検討結果

- ◆国のガイドラインを始め参考となるものが多い
- ◆国ではさまざまな議論の最中である
  - ・高齢者等終身サポート事業者ガイドライン
  - ・成年後見制度の改正
- ◆作成する場合の掲載範囲をどうするか
- ◆地域での問題意識が醸成されていない など



#### 今後の方針(案)

- スモールステップによる課題解決を目指す
- 事例を積み重ねることで「燕市版ガイドライン」の形が見え作成につながる

### 3. 当日参加委員の意見

- ・対象者の総合的な問題に対してチームで関わる必要がある。
- ・ワーキンググループを課題ごとに分けて立ち上げてその中でどの領域に関わる必要があるか紐づけていく作業をしていくのが良いのではないかと。
- ・身寄りなしと定義されず課題を抱える人がたくさんいるため、どうピックアップし必要な支援に当てはめていく作業をワーキンググループとしてできると意見がまとまりやすいのではないかと。
- ・現時点で急いでガイドラインは作成しなくて良い。

#### 【課題】

- ・金銭管理 ・医療同意 ・救急搬送 ・自身や地域での備え など



### 4. 結論

課題ごとにワーキンググループを立ち上げ検討を行う。

#### 【次回の燕市地域ケア推進会議】

【地域ケア推進会議】 令和7年1月22日(水) PM1:30~3:00

【認知症支援部会】 9月26日(木) PM3:00~4:30

【在宅医療・介護連携推進部会】 9月27日(金) PM1:30~3:00

【総合事業部会】 10月4日(金) PM1:30~3:00



令和6年度  
予定

